

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月29日

団体名 コミュニティーシンクタンク(CT)

代表者 太田 修

構成員 16 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

私たちの地域において、市民自ら、柔軟な発想と独立した視点から地域活性化に努力し、地域のあり方を提言することによって、市民と行政や社会とを真に有機的につなぎ、多様で人間的なまちづくりを具現化することが目的：理想！です。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは？	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
1月～12月	りぶら	万葉集講座受講者	236名	万葉集を通じて日本語の表現を学び、言葉の成り立ちを考えた。
4月～11月	岡崎公園・斎宮歴史博物館	万葉集講座受講者	65名	植物を鑑賞し、心身のリフレッシュを図った。・斎宮の歴史を知り、平安時代の人々の知恵を学んだ。
1月～5月 第三土曜10時	りぶら岡崎公園・乙川・伊賀川	当日参加された一般市民	47名	話しながらウォーキングとスロージョギングに、「歩く瞑想」
1月～12月	りぶら中央図書館	当日参加された一般市民	138名	『考えるとはどういうことか 0歳から100歳までの哲学入門』『ダイアログ:対立から共生へ、議論から対話へ』を参考に「哲学対話」する

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

岡崎市の中心街？にある緑の多い自然の中で体を動かしながら、深呼吸してリフレッシュしたり、古典の本:「万葉集」から日本語などを学び、脳を活性化。多様な経験をした方が集まり「dialogue:対話」をすることでストレスの解放とアドバイスが得られるなどの人的なネットワークができた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

花井教授の指導がよいので毎回出席率がよい。ウォーキング・スロージョギングを2時間することで脚力と血管力を強くする。対話することで脳の活性化とストレス解放になる。自己評価は難しいです